

コース番号	訓練科名	定員	訓練実施施設	レベル
604J2	言語聴覚士科	8名	日本福祉大学中央福祉専門学校	上級
●科の内容				
社会生活の円滑なコミュニケーションに欠かせない手段が「ことば」です。人は<身振り><声の高さ・大きさ><抑揚や話す速さ>などのさまざまな情報から『相手の気持ちをくみとる』というとても高度な作業を、脳の働きを使って行っています。家族や友達と会話する、好きなものを美味しく食べる、こうしたコミュニケーションや摂食嚥下の機能は、豊かな人生に欠かせないもの。そのサポートを行う言語聴覚士を養成します。				
<ul style="list-style-type: none"> 確かな知識と自信を深める学内演習 				
<p>「言語発達障害」「聴覚障害」「失語症」「構音障害」の4領域で専任教員による学内演習できめ細かく指導することに加え、『日本福祉大学付属クリニックさくら』との連携により、実践的な臨床カリキュラムを身近に体験することができます。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> オスキー(OSCE)を用いて到達度を着実に評価 				
学習の集大成となる臨床実習に向けて段階的到達目標が示されており、知識・技術から接遇マナーまで、臨床のスキルをバランス良く身に付けていきます。				
●取得目標資格				
言語聴覚士				
専門士（医療専門課程）				
任意：社会福祉士国家試験受験資格※1				
※1 要 4年制大学卒業資格かつ相談援助業務経験1年以上 本校社会福祉士科通信課程を併修（授業料等必要、検定料・入学金は免除） スクーリングの日程が言語聴覚士科の授業と重複する場合、通信課程を優先する必要あり。				
●就職先の主な職務				
医療機関：病院リハビリテーション科・脳外科・耳鼻科・小児科など 福祉機関：ことばの相談室・療育センターなど 介護保険機関：介護老人保健施設・介護老人福祉施設・通所リハビリ施設・訪問リハビリなど 保健機関：保健所・保健センターなど 教育機関：難聴幼児通園施設・難聴学級・特別支援学校等 その他：補聴器店・医療機器メーカーなど				
●独自の就職支援内容				
<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンス 				
就職活動の概要を指導。また現場で活躍する言語聴覚士を招いて就職活動の実際や、仕事の内容など話を伺う機会を設けます。				
<ul style="list-style-type: none"> 個別サポート 				
担任が、希望の地域や臨床内容などを把握し、きめ細かく相談に乗りながら支援します。臨床実習中など登校できない期間も、メール等を使ってスムーズに情報を提供します。				
<ul style="list-style-type: none"> 卒後サポート 				
万が一、卒業時に就職先が決まっていない場合でも、決定するまで就職支援をします。また、卒業後に結婚や転居などで転職を希望される場合も、就職情報の提供を行います。				
●訓練に用いる主な設備等				
心理検査・言語検査、オージオメータ、音響分析装置、呼吸発声機能測定装置、訓練教材 等				

	科目	科目の内容	時間数
学科	専門基礎分野 19科目	基礎医学（医学総論、生理学、解剖学、病理学）、臨床医学（内科学、小児科学、精神医学、耳鼻咽喉科学、リハビリテーション医学、臨床神経学、形成外科学、臨床歯科・口腔外科学）、音声言語聴覚医学（聴覚系の構造・機能・病態、呼吸発声発語の構造・機能・病態、神経系の構造・機能・病態）、心理学（認知・學習心理学、臨床心理学、心理測定法、生涯発達心理学）、音声・言語学（音声学、音響学、言語学、聴覚心理学、言語発達学）、社会福祉・教育（社会保障制度、リハビリテーション概論、医療福祉教育・関係法規）	544
	専門分野 27科目	言語聴覚障害学総論（言語聴覚障害概論、言語聴覚障害診断学）、失語・高次脳機能障害学（失語症、高次脳機能障害）、言語発達障害学（言語発達障害）、発声発語・嚥下障害学（構音障害、嚥下障害、音声障害、吃音）、聴覚障害学（小児聴覚障害、成人聴覚障害、補聴器・人工内耳）	930
	行事	オリエンテーション、実習報告会、定期試験等	76
	就職支援	就職ガイダンス等	20
	国家試験対策	国家試験対策学習、模擬試験 等	60
小計			1,630
実技	専門分野 臨床実習	臨床実習	600
			小計 600
合計			2,230

※ 訓練開始日に入校式、訓練最終日に修了式を実施します。